

第10回 サンポート高松トライアスロン  
(香川県高松市)

報 告

日 時：2019年7月7日(日)

スタート：7時00分

参加者数：700人

距 離：スタンダードディスタンス 51.5 km

結 果：総合16位(年代別1位表彰)

総合タイム 2時間09分56秒

スイム 1.5km 22分17秒(15) ・ バイク 40km 1時間07分15秒(22) ・ ラン 10km 40分24秒

(22) ※ ( ) 内はカテゴリー順位

※10月27日開催 エイジ日本選手権宮崎シーガイア大会へ出場決定

先週の福岡トライアスロンで復調の兆しをうかがえ、今レースでさらに前へ進みたいと思っていた。条件的には絶好のコンディションに思えるほどの都市型トライアスロンでスピードコースだ。特にバイク、ランはスピードに乗せて空間移動できれば力も引き出され、とどまっている今の現状から抜け出ることができるとも思った。

レースはスイムはまずまず妥当なスイムアップだったが、バイクが進まない。腿の裏(ハムストリング)に硬さがありしなやかな継続ができず動きが続かない。使わせていただくバイクは相性も良く、そんな感覚はこれまでなかったが、コーナーを繰り返すクリテリウムコース(9周回)ではポジションチェンジを繰り返し、それが重く感じた。ランも走りやすいコースだが、余計に長く感じるのはコンディショニング不足である。身体が重く感じないトレーニングと、レースへのテーパ力(調整力)のこれまで以上の必要性を痛感した。

今回優勝した選手は同世代の日の丸をつけ続けていた元プロ選手。彼が引退後再びこの世界へ入ってきたことはこれまでも私らの活躍のたまものであろうとも思える。プロを引退後アマチュアの世界でやる選手はいなかった。喜びではあるが、手ごわい大きな存在になる。そして勇気とモチベーションを上げる存在でもある。

年齢がどうのなど言われてられない世界になってきた。私もプロとして大きな存在感を与える魅力ある競技者になるため精進していきたい。

今大会は市街地をフルに使う都市型大会。閉会式では実行委員長が2日間を1億円の予算で行ったと説明。トライアスロンはマラソンほど一度の出場人数はいないが、人を変え、街を変える大きな力を持つスポーツになる。戦う場ではあるが、心育む場でもあることを、年齢を重ね人との繋がりでそのことを痛感する。これからもトライアスロンライフを通じ、人生の目的を多くの人へ渡していける人生にしたいと思う。

今回の大会結果にて、日本トライアスロン連合ルールにより10月末に開催される日本エイジ別選手権の出場が決定した。レースは納得できないが、何とか踏ん張ったからの形だと思っている。

トライアスリート福元テツロー



